

## 編集委員会報告

### 一、年報第九集の刊行について

年報第九集は、十月に刊行されました。応募原稿の一部の提出がおくれたこともあって、刊行期日が例年より遅れ、大会前に会員のもとに届けることのできなかった不手際をお詫びいたします。なお、紙価の上昇に加えて、一部の原稿に図表が多く、また校正の段階で大巾な加筆訂正などがあったため組代が高くなり、その結果予想以上に高い定価となりました。執筆要領等につ

いてはいずれ、編集委員会で再検討したいと思います。

。年報第九集・定価三、二〇〇円

。会員定価二、七〇〇円（郵送料を含む）

。入手方法・直接稿書房に代金を添えて申込んで下さい。

一、年報第一〇集の原稿募集について

すでに「研究通信」（八九号）にも掲載しましたように、年報第

一〇集の原稿を募集しています。申込の〆切期日は、本大会終了までの期間です。応募される方は要旨（原稿用紙二、三枚）を添えて委員に提出して下さい。なお、本原稿の枚数は、八〇枚・原稿〆切は三月末日です。

一、調査研究叢書第三輯の刊行について

「研究通信」（八八号）でお知らせの通り黒崎八洲次良「近代農業村落の成立と展開」が去る五月によりやく刊行されました。

。定価二、九〇〇円、会員定価二、五〇〇円（郵送料を含む）

。入手方法は年報の場合と同じ。

〒113 文京区本郷三丁目六一〇 稿書房

振替「東京八七八二」

なお、本研究叢書の刊行には、一、二輯同様に福武直会員より出版費について助成をいただきました。叢書が二刷になると印税収入があり、出版資金に繰り入れられることになっていますが、このようなルートによる資金プールの実現の見通しはいまのところない状況です。といつても個人のご好意に依存することも許されなれないと思います。継続して叢書を刊行するための資金の

検出方法について検討する時期にきていると思います。この点についてのご意見を委員会に寄せて下さい。

以上  
（編集委員会）